

宿泊約款

(適用範囲)

第1条

1. 当館(ホテル)が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当館(ホテル)が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条

1. 当館(ホテル)に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館(ホテル)に申し出ていただきます。
 - (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による)
 - (4) その他当館(ホテル)が必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館(ホテル)は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条

1. 宿泊契約は、当館(ホテル)が前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当館(ホテル)が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立した時は、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料金を限度として当館(ホテル)が定める申込金を、当館(ホテル)が指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当館(ホテル)が指定した日までに支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払い期日を指定するに当たり、当館(ホテル)がその旨を宿泊客に告知した場合に限りです。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条

1. 前条第2項の規定にかかわらず、当館(ホテル)は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館(ホテル)が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱い

ます。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条

当館(ホテル)は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められたとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条

1. 宿泊客は、当館(ホテル)に申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当館(ホテル)は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当館(ホテル)が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当館(ホテル)が第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当館(ホテル)が宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当館(ホテル)は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当館(ホテル)の契約解除権)

第7条

1. 当館(ホテル)は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められる時。
 - (2) 伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (3) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (4) 天災等不可抗力によって起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (5) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当(ホ

テル)が定める利用規則の禁止事項(火災予防必要なものに限る)に従わないとき。

2. 当館(ホテル)が前項の規定に基づいて宿泊規約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

第8条

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当館(ホテル)のフロントにおいて、次の事項登録していただきます。

- (1) 出発日及び出発予定時刻
- (2) その他当館(ホテル)が必要と認める事項
- (3) その他当館(ホテル)が必要と認める事項

2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条

1. 宿泊客が当館(ホテル)の客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当館(ホテル)は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申受けれます。

- (1) 超過3時間までは、室料相当額の30%
- (2) 超過3時間以上は、室料相当額の100%
- (3) 前項の室料相当額は、基本宿泊料の70%とします。

(利用規則の遵守)

第10条

宿泊客は、当館(ホテル)内においては、当館(ホテル)が定めて館内(ホテル)に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条

1. 当館(ホテル)の主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクター等で御案内いたします。

- (1) フロント・キャッシャー等サービス時間:

イ 門限 なし

ロ フロントサービス 24時間(終日)

- (2) 飲食等(施設) サービス時間:

イ 朝食 午前7時00分~午前9時00分(8時30分オーダーストップ)

ロ 夕食 午後6時00分~午後9時00分

ハ その他の飲食等

ロビー喫茶 午後15時00分~午後18時00分

- (3) 附帯サービス時間:

イ 売店 午前7時00分~午前11時00分

午後3時00分~午後9時00分

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります

その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第12条

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館(ホテル)が認めた旅行小切手宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当館(ホテル)が請求した時、フロントにおいて行っていただきます

3. 当館(ホテル)が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当館(ホテル)の責任)

第13条

1. 当館(ホテル)は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館(ホテル)の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2. 当館(ホテル)は、防災につとめておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条

1. 当館(ホテル)は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2. 当館(ホテル)は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっせんが出来ないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館(ホテル)の責めに帰すべき事由がないときは、保証料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第15条

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、

滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当館(ホテル)は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当館(ホテル)がその種類及び価格の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館(ホテル)は15万円を限度としてその損害を賠償します。

2. 宿泊客が、当館(ホテル)内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについては、当館(ホテル)の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときはその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類

及び価格の明告のなかったものについては、15万円を限度として当館（ホテル）はその損害を賠償します。

（宿泊客の手荷物又は携帯品の保管）

第16条

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当館（ホテル）に到着した場合は、その到着前に当館（ホテル）が了解した時に限って責任を以て保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館（ホテル）に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明した時は、当館（ホテル）は、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館（ホテル）の責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同上第2項の規定に準じるものとします。

（駐車場の責任）

第17条

宿泊客が当館（ホテル）の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館（ホテル）は場所をお貸しするものであつて、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館（ホテル）の故意または過失によって損害を与えたときは、その後の責めに任じます。

（宿泊客の責任）

第18条

宿泊客の故意または過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館（ホテル）に対し、その損害を賠償していただきます。

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

契約解除の通知を受けた日	契約解除の通知を受けた日					
	不泊	当日	前日	2日前	3日前	5日前
契約申し込み人数	100%	100%	50%	30%	30%	30%
14名まで	100%	100%	50%	30%	30%	30%
15名～30名まで	100%	100%	50%	30%	30%	30%
31名～100名まで	100%	100%	80%	30%	30%	30%
101名以上～	100%	100%	80%	30%	30%	30%

契約解除の通知を受けた日	契約解除の通知を受けた日					
	6日前	7日前	8日前	14日前	15日前	30日前
契約申し込み人数						
14名まで						
15名～30名まで						
31名～100名まで	20%	20%	10%	10%		
101名以上～	30%	30%	15%	15%	10%	10%

（注）

1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を収受します。
3. 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があつた場合、宿泊の10日前（その日より後に申し込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合には切り上げる）に当たる人数については、違約金はいただきません。

別表第1 宿泊料金の算定方法（第2条第1項及び第12条第1項関係）

		内訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料金
		②サービス料(①×10%)
	追加料金	③追加飲食(朝・夕食以外の飲料)およびその他の利用料金
		④サービス料(③×10%)
税金	イ 消費税	
	ロ 入湯税	

備考

1. 基本宿泊料はフロントに提示する料金表によります。
2. 子供料金は小学生以下に適用し、大人に準じる食事と寝具を提供した時は大人料金の70%、子供用食事と寝具を提供した時は50%、寝具のみを提供した時は無料となります。

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION

Article 1-Scope of Application

1.Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and/or generally accepted practices.

2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provision of these Terms and Condition.

Article 2-Application for Accommodation Contracts

1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel of the following particulars.

- (1)Name of the Guest(s)
- (2)Date and Days of accommodation and expected time of arrival.
- (3)Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1): and
- (4)Other particulars deemed necessary by the Hotel

2.In the case when the Guest requests, during his or her stay. Extension of the accommodation beyond the date in Sub-Paragraph (2)of the preceding Paragraph .the request shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time that the request is made.

Article-3—Establishment of Accommodation Contracts, Etc.

1.A Contract for Accommodation shall be deemed to have been established when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, this shall not be the case where it has been proven that the hotel has not accepted the application.

2.When a Contract for Accommodation has been established in

accordance with the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay, by the date specified by the Hotel ,an accommodation deposit established by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (three days when the period of stay exceeds three days)

3.The accommodation deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges

To be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6.and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the Accommodation Charges as stated in Article 12.

4. When the Guest has failed to pay the accommodation deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Contract for Accommodation as invalid. However, this shall be the case only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is special

Article 4—Special Contract Requiring No Accommodation Deposit.

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract not requiring the accommodation deposit after the Contract has been established as stipulated in the same Paragraph.

2. IN a case in which the Hotel has not requested the payment of an accommodation deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding article and/or has not specified the date of the payment of the accommodation deposit at the application for an Accommodation Contract has been accepted., said case shall be treated as a case wherein the Hotel has accepted a special contract as stipulated in the preceding Paragraph.

Article 5—refusal of Accommodation Contract

In any of the following cases, the Hotel may refuse to accept the establishment of an Accommodation Contract.

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions:
- (2) When the Hotel is fully booked and no guest room is available:
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed likely to conduct himself or herself in a manner that will contravene the laws or against the public order or good morals with respect to his or her accommodation:
- (4) When the Guest seeking accommodation can be clearly discerned to be carrying an infectious disease:

- (5) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden with respect to the Guest's accommodation:
- (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities, and/or other unavoidable cause: or
- (7) When the provisions of article 12 of the Kumamoto prefecture Hotel Business Law enforcement ordinance are applicable.

Article 6—Right of Guests to Cancel Accommodation Contract

- 1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
- 2. In the case when the Guest has canceled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as stipulated in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has canceled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges listed in Attached Table No.2. However, in the case when a special contract as stipulated in Paragraph 1 of Article 4 has been established, the same shall apply only when the Guest is informed of the payment of the cancellation charges in the event of cancellation by the Guest.
- 3. In the case when, without providing advance notice, the Guest does not appear by 8:00 p.m. of the accommodation date (or by two hours after the expected time of arrival, if the Hotel has been notified thereof), the Hotel may regard the accommodation contract as having been canceled by the Guest.

Article 7—Right of the Hotel to cancel Accommodation Contracts

- 1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract in any of the following cases:
 - (1)When the Guest is deemed likely to conduct himself or herself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals with respect to his or her accommodation, or is deemed to have conducted himself or herself in such a manner.
 - (2)When the Guest can be clearly discerned to be carrying an infectious disease:
 - (3)When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden with respect to the Guest's accommodation.
 - (4)When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities, and/or other unavoidable cause: or
 - (5)When the provisions of article 12 of the Kumamoto Prefecture

Hotel Business Law enforcement ordinance are applicable.

(6)When the Guest has failed to abide by a prohibition of an action such as smoking in bed, tampering with firefighting equipment, or any other prohibition set forth in the rules of Use stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid causing fire).

2.In the case when the Hotel has canceled the Accommodation Contract in accordance with the provisions of preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to make any future claim against the Guest for any of the services during the contractual period which he or she has not received.

Article 8—Registration

- 1. The guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation.
 - (1) Name, age, sex, address, and occupation of the Guest(s):
 - (2) Nationally, passport number, and port and date of entry to Japan (when nationality is other than Japanese);
 - (3) Date and expected time of departure; and
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel
- 2. In the case when the Guest intends to pay his or her Accommodation charges as stipulated in Article 12 by any instrument other than Japanese currency, such as travelers checks, lodging coupons, or credit cards, the instrument shall be presented in advance at the time of registration stipulated in the preceding Paragraph.

Article 9—Occupancy Hours for Guest Rooms

- 1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3:00 p.m. to 10:00 a.m. the next morning. However, in a case of continuous accommodation, the Guest may occupy the room throughout the day, except for the days of arrival and departure.
- 2. The Hotel may, notwithstanding the provisions stipulated in to preceding Paragraph. Permit the Guest to occupy the room beyond the time stipulation in said Paragraph. In this case, extra charge shall be levied as follows.
 - (1) Up to three (3)hours beyond the stipulated time: 30% of the room-charge equivalence amount.
 - (2) More than three (3) hours beyond the stipulated time: 100% of the room-charge equivalence amount.
- 3. The room-charge equivalence amount of the preceding Paragraph shall be 70% of the Basic Accommodation Charge.

Article 10—Observance of the Rules of Use

While on the premises of the Hotel, the Guest shall observe the Rules Use established by the Hotel and posted on the premises.

Article 11—Business Hours

1. The business hours of the main facilities and the like of the Hotel at as stated hereinafter, and detailed hours of operation of other facility and the like shall be means of furnished brochure notices displayed thought the premises, service directories guest rooms, and so on.

(1)Service hours for the front desk, cashier, and the like

A. Curfew None

B. Front-desk services Available 24 hours a day

(2)Service hours for dining, drinking, and the like <facilities>

A. Breakfast 7:00 a.m. to 9:00 a.m.

B. Dinner 6:00p.m. to 9:30 p.m.

C. Service hours for other dining, drinking, and the like

Coffee shop 7:00 a.m. to 9:00 p.m.

(3)service hours for other facilities

A. Gift shop 7:00 a.m. to 10:00a.m 3:00p.m. to 9:30 p.m.

2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to charge on a provisional basis due to unavoidable circumstances, such cases , the Guest shall be informed by appropriate means.

Article 12—Payment of Accommodation Charge

At itemized list of the Accommodation Charges and the like to paid by the Guest is set forth in the attached Table No.1.

2. Payment of the Accommodation Charges and the like as stipulated the preceding Paragraph shall be made at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel, by means of Japanese currency or any means other than Japanese currency recognized by the Hotel, including travelers checks, lodging coupon or credit cards.

3.Accommodation Charges Shall be paid even in the event that the Guest voluntarily forgoes use of the accommodation facilities which have been provided for him or her and made available for use by the Hotel.

Article 13—Liability of the Hotel

1. The Hotel shall compensate the Guest for damages in the event the Hotel has imparted such damages to the Guest through the fulfillment or nonfulfillment of the Accommodation Contract or at related agreement. However, this shall not apply in a case in which such damages have accrued due to circumstances for which the Hotel

is not liable.

2. The Hotel makes every effort in its duties related to fire prevention The Hotel is also subscribed to hotel liability insurance as precautionary measure in the event of a fire or other accident.

Article 14—Disposition in the Event That the Hotel Is Unable to Provide Contracted Guest Room

1. The Hotel shall, when unable to provide a contracted guest room arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as is practicable and with the consent of the Guest.

2. When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensatory fee equivalent to the cancellation charges, and the compensatory fee shall be applied to the reparation However, when the Hotel cannot provide accommodation due cause for the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the guest.

Article 15—Disposition for Deposited Article

1. The Hotel shall compensate the Guest for damages when loss,, breakage, or other damage is caused to any goods, cash, or other valuables, deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to force majeure. With respect to cash or valuables, however, in the event that the Hotel has requested the Guest to specify the type and monetary value of any such loss and the Guest has failed to comply with this request, compensation to the Guest shall be no more than 150.000yen.

2. The Hotel shall compensate the Guest for damages when loss, breakage, or other damage is caused, either intentionally or through negligence on the part of the Hotel, to any goods, cash or valuables brought onto the premises of the hotel by the Guest but not deposited at front desk. However, compensation from the Hotel to the Guest for articles for which the type and monetary value thereof has not been reported in advance by the Guest shall not exceed 150.000yen.

Article 16—Custody of Baggage and/or Personal Effects of the Guest

1. When any baggage of the Guest is brought into the Hotel before his or her arrival, the Hotel shall be responsible for holding it only in the case when such a request has been agreed to by the Hotel prior to arrival of the baggage. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his or her check-in.

2.

In the event that, after check-out by the Guest, any baggage or

personal effect of the Guest is discovered to have been left behind, and ownership of the article has been confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left behind and request further instructions. In the event that no such instructions are received or ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for seven (7)days, including the including the article is found, and thereafter the Hotel shall transfer the article to the local police authorities.

3. The Hotel's liability with respect to the storage of the Guest's baggage or personal effects as in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

Article 17—Liability with Respect to Parking

In the event that the Guest has elected to make use of the Hotel's parking facilities, the Hotel's responsibility shall be construed as being solely to provide space for parking and shall not extend to responsibility for the Guest's vehicle key has been deposited with the Hotel. However, the Hotel shall compensate the Guest for any damages incurred either intentionally or through negligence on the part of the Hotel with respect to management of the parking facilities.

Article—18Liability of the Guest

The Guest shall compensate the Hotel for any damage to the Hotel incurred either intentionally or through negligence on the part of the Guest.

Attached Table No.1

Itemized Accommodation Charges, Etc. (Relating to Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

		Item
Total amount to be paid by Guest	Accommodation charge	1)Basic accommodation charge (room charge +breakfast/ dinner charge) 2)Service charge (amount of 1 x 15%)
	Additional charge	3)Additional dining charges (dining charges for other than breakfast/ dinner and other usage charges) 4) Service charge(amount of 3 x 20%)
	Taxes	A. Consumption tax B. Bathing tax (in hot-spring areas only)

Remark

s

1. The Basic Accommodation Charge is based on the rate schedule posted at the front desk.
2. Child rates apply to children in elementary school or younger and are 70% of adult rates when adult-size meals and bedding are

provided, 50% when child-size meals and bedding are provided, and free when bedding only is provided.

Attached Table No. 2

Cancellation Charges for the Hotel (Relating to Paragraph 2 of article 6)

Number of person applying for accommodation contract	14 Persons or fewer	15 to 30 Persons	31 to 100 Persons	101 Persons or more
Day on which notification of contract cancellation is received				
No show	100%	100%	100%	100%
Same day	100%	100%	100%	100%
Previous day	50%	50%	80%	80%
2 days in advance	30%	30%	50%	50%
3 days in advance	30%	30%	30%	50%
5 days in advance		30%	30%	30%
6 days in advance			20%	30%
7 days in advance			20%	30%
8 days in advance			10%	15%
14 days in advance			10%	15%
15 days in advance				10%
30 days in advance				10%

Notes :

The percentages stated represent the ratio of the cancellation charge to the Basic Accommodation Charge.

2. When the number of days contracted has been reduced, the cancellation charge for the first (initial) day thereof shall be paid by the Guest regardless of the number of days of the reduction.
3. When a portion of a group booking (for 15 persons or more) is canceled 10 or more days in advance, no cancellation charge will be imposed for a number of persons corresponding to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (or as of the date, when accepted less than 10 days prior to the occupancy). With any fractional portion rounded upward to the nearest whole number.